

# TDMの取組状況と今後の取組方針

---

東京都  
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

# 大会に向けたTDM等の推進

大会時の  
交通の見通し

大会時の  
交通対策

削減交通量  
の目標

道路交通



首都高を走る車が約 **1** 割増加

公共交通



(大会延期前) 鉄道利用者が約 **1** 割増加  
→オリンピック期間の首都圏無観客など  
大幅な観客数減、不要不急の外出自粛

TDM (交通需要マネジメント)

・道路や公共交通利用者への交通需要低減の働きかけ



TSM (交通システムマネジメント)

・高速道路の入口閉鎖、競技会場周辺での車両通行禁止等

首都高の料金施策 等



公共交通輸送マネジメント

- ・テレワーク/時差出勤
- ・輸送力増強等

- 都心部 (重点取組地区)
  - ：大会前交通量の **30%減** を目指す
- 東京圏の広域 (圏央道の内側)
  - ：大会前交通量の **10%減** を目指す
- 首都高速道路
  - ：交通量を最大 **30%減** を目指す

- 局所的な混雑への対応等  
により、現状と同程度の  
安全で円滑な運行を実現

安全・安心な東京2020大会の開催に向けて、物流に加え、人流を抑えるための取組を徹底

# 大会に向けたTDM等の推進



## 「2020TDM推進プロジェクト」

都市活動や経済活動の安定との両立を図ることを目的に、東京都、内閣官房、東京2020組織委員会が事務局となり、大会時の交通混雑緩和を目指す（約5万社・910団体で構成）

### これまでの活動

#### ◆企業向け（中小企業・商店街向け含む）

人の流れ、物の流れについて混雑回避等の取組を呼び掛け

- 1) テレワーク、時差出勤などの働きかけ
- 2) 効率的な物流計画の推進/  
東京港ゲートオープン時間拡大（コンテナターミナル）
- 3) 工事調整による混雑緩和（対象工事：約2400件）

企業の取組状況（例）

- ・テレワーク導入企業  
2020年3月 24.0% ⇒ 2021年5月 64.8%
- ・サマーセールスの期間変更 例年7月 ⇒ 6月に前倒し
- ・集約/共同配送、「大会中の配送遅れ」を顧客に案内

#### ◆個人向け

テレワークの実践、計画的な夏季休暇取得、自家用車利用の際の時間・ルート変更、宅配を一回で受取ること等と呼び掛け

（2019年秋～延期前）  
ポスター 約16万枚、チラシ 約26万枚を配布

（延期後）  
コロナ禍を経た意識変化（アンケート R2.11月）  
→ テレワーク継続意向は高い  
交通規制チラシ 約48万部配布

### 今後

#### ◆大会期間中の人流抑制と交通対策について

##### 国・経済団体等と協力した取組

- ・スムーズBiz、テレワークデイズの設定(7/19～9/5)
- ・経済界へ交通混雑緩和等に向けた働きかけ
- ・夏季休暇の分散取得
- ・首都高の料金施策(7/19～8/9, 8/24～9/5)
- ・東京港ゲートオープン時間拡大（コンテナターミナル）  
(7/14から9/8(お盆・土日祝除く) 7:30～翌4:00等)

##### 大会時の取組

- ・TSM（交通システムマネジメント）
- ・観客向けガイドライン※（直行直帰の推進等）  
※パラリンピックの観客の取扱いは今後の5者協議の決定に準じる

##### 夏の集中広報

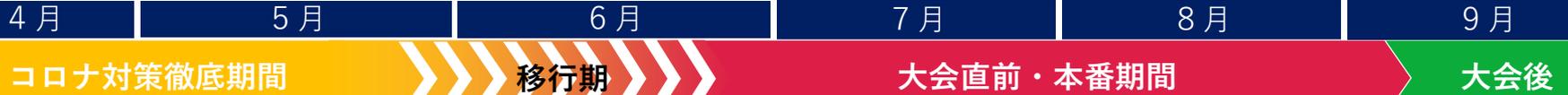
- ・テレワークの実践、学生等の休暇中の移動自粛等と呼びかけ
- ・CM、Web・新聞広告、メルマガ（5万社、910団体）
- ・ポスター・チラシ36万枚

##### デジタル技術等を活用した情報発信

- ・リアルタイム混雑状況の発信
- ・日々の移動に関する混雑予報の発信
- ・CM、Web等による道路交通情報

# 大会時の混雑緩和に向けた広報展開

- 社会経済状況に配慮しながら、大会時の交通対策のメッセージを段階的に発信
- 大会直前・本番期間においては、市民に人流抑制の徹底と交通混雑の緩和を訴求



**感染対策の徹底継続**  
(大会時の交通対策)

(感染症対策の継続)  
**人流抑制と大会時の交通対策**

レガシーに向けて

既存資料も活用し、徐々に交通対策を発信

鉄道駅/車内ビジョン  
各種チラシ  
自治体広報紙 等

鉄道駅/車内ビジョン  
自治体広報紙  
WEB媒体 等

直前・本番期間の集中的な広報

鉄道駅/車内ビジョン  
チラシ・ポスター、WEB媒体  
**CM、新聞広告、横断幕** 等

定着の呼びかけ

駅/車内ビジョン  
事例報告会等

# 「未来につながる物流」の認定・表彰について【2020物流TDM実行協議会主催】

○2020 物流TDM実行協議会（会長：苦瀬博仁 東京海洋大学名誉教授）では、「未来につながる物流」を募集（令和3年5月25日報道発表）し、14件の取組を認定

○認定企業のうち、特に優れた取組5件について表彰

表彰対象5社

	企業・団体名	業種	取組概要
1	株式会社アップクオリティ	運送業	・旅客用高速バスを活用した貨客混載による地域特産物の輸送 ・独自の保冷ボックスや専用IoT端末により、3温度帯と輸送中の品質管理を実現
2	株式会社ゲイト	飲食業・漁業・水産加工業	・物流拠点の整備及び店舗への他品目をまとめた一括自社配送
3	新宿EAST魅力あふれる街創り有志懇談会	—	・地域ルールによるエリア内自動車交通量の低減 ・大規模開発に合わせたエリア別共同荷捌き場の整備の検討等
4	株式会社ミノダ	製造業・メーカー	・注文システムのオンライン化 ・顧客と加工工場を直接つなげる物流システムの転換による配送台数の削減
5	株式会社NTSロジ	運送業	・共同配送による積載率改善 ・静脈物流の活用した食品廃棄物の回収、肥料化、配送等の循環型物流
6	株式会社オー・エス・エス	運送業	・訪日外国人向け手荷物国際配送サービスの実施
7	株式会社オカダヤ	小売業	・物流拠点整備及び店舗への一括自社配送 ・前倒し納品や輸送ルートの複数化を検討
8	共栄社化学株式会社	製造業・メーカー	・メーカー主導による近隣企業との共同配送（化学品等） ・上記に伴う配送台数の削減、積載率の向上
9	株式会社ケミロジ	運送業	・試薬及び理化学機器に係る共同配送
10	東京コンピュータシステム株式会社	情報通信業	・ペーパーレス、電子化に伴う郵便物、郵送頻度の削減 ・コピー用紙、文房具、コーヒー等の消耗品の事前発注等
11	ヤマト運輸株式会社・ライナス株式会社・東急在宅リース株式会社	運輸業	・オートロック付きマンションへの置き配による非接触の推進及び再配達削減
12	吉江社会保険労務士事務所	法律業	・業務のペーパーレス、電子化に伴う物量の削減 ・上記に伴う、宅配便の削減及び混雑時間帯を避けた時間指定、再配達削減
13	株式会社ワールドサプライ①	運送業	・電子受領端末の導入による非接触の推進、受領証等の削減に伴う紙の納品回数の削減、館内配送に係る荷下ろし時間の短縮
14	株式会社ワールドサプライ②		・午前・午後複数回行っていた集荷配送を、午前一回の配送と午後一回の集荷に集約

認定企業14社

# 大会期間中の交通混雑緩和に向けた「都庁2020 アクションプラン」について

## 1. 概要

2020 大会期間中の交通混雑緩和、感染拡大防止のため、都庁自らの取組として策定した「都庁2020 アクションプラン」について、人流抑制の取組など内容を更新

## 2. 主な取組内容

### ●テレワーク・オフピーク通勤の実施

期間：7月19日～9月5日（スムーズビズ期間）

内容：都庁本庁・出先事業所の職員は、原則毎日テレワークを実施

やむを得ず出勤する必要がある場合には、オフピーク通勤（8時から10時までの出勤を回避）

### ●期間中の移動の回避

期間：7月19日～8月9日、8月24日～9月5日

内容：オンライン会議の活用、イベントのオンライン開催等による移動の回避

### ●備品等の納品時期の変更

期間：7月19日～8月9日、8月24日～9月5日

内容：事務用品やコピー用紙について大会期間中の納品を控える

### ●都庁発注工事の調整

期間：7月19日～8月9日、8月24日～9月5日

内容：「都庁発注工事の調整に関する取組方針」に基づき、路上工事によるボトルネック化の回避とともに、工事から発生する車両数を削減

令和3年7月14日

業界団体・企業の皆様

東京都  
東京2020組織委員会  
内閣官房

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中の  
交通混雑緩和等に係るご協力をお願い

平素より、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた取組にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催期間中は、選手・大会関係者等の移動が発生します。大会においては、選手・大会関係者等の感染防止対策を徹底しますが、人との接触機会の削減や交通混雑の緩和のため、大会の開催に合わせ、下記のとおり、集中的にテレワークや時差出勤等へのご協力をお願いします。

なお、感染防止のための、3つの密（密閉、密集、密接）の回避、手洗いや手指消毒などの基本的な感染防止対策への取組についても、引き続き、ご協力をお願いします。

記

○お願いしたい取組例

1. テレワーク・時差出勤

既に実施されている企業におかれましては、引き続きの実施と更なる拡大・徹底をお願いします。まだ実施されていない企業におかれましては、早期の導入と実施をお願いします。終日のテレワークが難しい職場では、半日・時間単位のテレワーク及び時差出勤の活用をご検討ください。就業規則、人事制度の変更なども含め、ご対応をお願いします。

なお、テレワーク機器・ソフト等のテレワーク環境整備等にあたっては、東京都など自治体による支援事業を行っておりますので、ご活用ください。

2. ウェブ会議の活用

会議、打合せや研修などでは3密が発生する可能性が高いとともに、人の移動が発生します。つきましては、会議、打合せや研修などの実施に際して、社内・社外を問わずウェブ会議をご活用ください。ウェブ会議の活用が難しいものについては、必要最小限の規模での対面対応をしていただくなど、実施方法を適切に組み合わせた取組をお願いします。

### 3. 従業員等の出勤抑制・削減への取組

契約書や申請書をはじめとした紙書類の提出や手続き、商品サンプルの持参、押印が必要な書類の事務などが、出社を避けられない大きな要因となっています。つきましては、紙書類の電子化、リモートでの手続き対応、ウェブを活用した商品サンプルの案内、電子印鑑の活用などにより印鑑を不要とする社内体制の整備など、自社の従業員や取引先の従業員等が出勤をせずに業務を継続できる取組へのご協力をお願いします。

### 4. 計画的な夏季休暇の取得

ローテーション勤務等をご活用いただき、大会期間中には5日連続などまとまった夏季休暇を計画的に取得していただくことで、交通混雑の低減につながります。就業規則、人事制度の変更なども含め、計画的な夏季休暇の取得が可能となるよう、ご対応をお願いします。

### 5. 車利用の抑制・分散・ルート変更等

道路交通は、既に例年並みの交通量に回復してきています。大会期間中には、選手等の車両での移動に伴う交通量が上乘せされ、混雑の増加が見込まれます。テレワークの活用・時差出勤・休暇などで、車利用の抑制や、混雑している時間や場所を避ける分散等をお願いいたします。

また、混雑を避けたルートへの変更等のご検討とあわせて、不要不急の外出を避けていただきますようお願いいたします。

### 6. 買い物方法の工夫や宅配便等の受取への配慮

身近なところで短時間の買い物やEコマースの活用等により、人流の抑制と人との接触機会の削減をお願いします。宅配便等の受取について、一度で受取れるよう計画的なご注文をいただく等、再配達抑制へのご協力もお願いします。

### 7. 自宅での大会応援

人との接触を回避することは感染拡大防止に大きな効果が見込まれます。大会期間中においても、3密を避けていただき、ぜひご自宅で大会をお楽しみいただくとともに、選手への応援をいただけますよう、お願いします。

### ○上記にご協力いただきたい期間

令和3年7月19日（月）から9月5日（日）

### 《連絡先》

2020TDM 推進プロジェクト運営事務局

<https://2020tdm.tokyo/inquiry/index.php>

2020TDM 推進プロジェクトは、都市活動や経済活動の安定との両立を図ることを目的に、東京都、東京2020組織委員会、内閣官房が事務局となり、大会時の交通混雑緩和を目指す取組です。